

由良川水系河川整備計画の進捗点検を行いました。

R4. 12. 21

～第15回由良川流域懇談会を開催～

平成25年6月に策定された「由良川水系河川整備計画」に基づく、由良川の河川整備計画の進捗点検を実施する「第15回由良川流域懇談会」を開催しました。

懇談会は3年に1回開催しており、本懇談会では令和3年度末時点の由良川の河川整備の進捗状況の確認に加え、「緊急的な治水対策※1」及び「総合的な治水対策※2」の完了報告を行いました。

- ※1 平成16年台風第23号洪水、及び平成25年台風第18号洪水で2度の浸水被害を受けた区間を緊急対策特定区間とし、区間内における河川整備計画の治水対策の一部を緊急的な治水対策として大幅に前倒して概ね10年以内で実施。
- ※2 平成26年8月の豪雨により、由良川沿川の福知山市街地で甚大な浸水被害が発生したことを受け、国、京都府、福知山市が連携し、平成26年8月豪雨と同規模の降雨に対して、床上浸水被害の軽減を図るため、排水機場の増強や法川、弘法川の河川改修、調整池整備等を実施。

【日時】

令和4年12月21日（水）
13時00分～14時30分

【場所】

市民交流プラザふくちやま
3階 市民交流スペース

【出席委員（敬称略）】

- 池上 甲一（近畿大学 名誉教授）
- 音田 慎一郎（京都大学工学研究科 准教授）
- 神田 佳一（明石工業高等専門学校 教授）
- 小谷 晴昌（福知山市 消防団長）
- 土田 真奈見（福知山環境会議）
- 松島 格也（京都大学工学研究科 准教授）
- 矢島 正枝（ホスピタリティ研究所 室長）
- 柳瀬 満男（緑研柳瀬樹木医事務所）

【参加者】

行政関係者（福知山市）、マスコミ、
一般傍聴 約10名

【事務局】 福知山河川国道事務所



第15回 由良川流域懇談会の様子



H25出水 浸水状況

前田地区 連続堤整備 (R4年3月完成)

環境・利水



水生生物調査の実施

管理



由良川防災ステーションを整備 (R3年7月完成)

地域



地域住民と堤防清掃の協働実施

委員からのご意見・ご質問

- 流域治水プロジェクトに記載されている立地適正化計画の取り組みについて紹介して欲しい。
⇒福知山市では、立地適正化計画にて、都市機能及び居住地域を中心部に集約させることとなっており、その中心部の浸水リスクを下げる施策に取り組む旨が記載されていることを事務局でも確認している。
中心部の浸水リスクを下げる施策を助けていくことが、今後、流域治水プロジェクトの取り組みになる。
- 若い人が川に関心や親しみを持つことが減っており、福知山の名所・資産である明智藪への関心も薄れているため、事務所の方々も今後とも関わりを持ってほしい。
⇒明智藪に関しては、福知山市街地を守る岩沢堤の川側に植生しており、明智藪の治水的な機能による効果にも配慮して、今後の河川整備を考えていきたい。
- 緊急的な治水対策や総合的な治水対策が完了した後の今後の計画はどうなるのか。
⇒河川整備計画の残りのメニューである由良地区、並松地区、高畑地区の堤防整備等を引き続き実施する。福知山市街地においてもH26出水による浸水エリアの床上浸水が全て解消されたわけではないので、今後は、由良川水系流域治水プロジェクトとして府・市と連携して整備を進める。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所 調査課
〒620-0875 福知山市字堀小字今岡2459-14 TEL 0773-22-5104（代表）

